

## 出会のワゴン (後期)

今月は九月。九月といったら本校では運動会。今年の運動会での各グループのテーマに関する書籍他、運動会が題材の物語を集めました。つまり今回の集合は「運動会」。

### 『竹取物語』 星新一 訳

今年の蒼龍のテーマがかぐや姫だったのでそれにまつわるもので一つ紹介します。貴公子の求婚の場面と星新一のダークな雰囲気共鳴してすごく面白くなっています。挿絵はいつも通りのほっこり系です。なごみます。

### 『日本の妖怪』 岩井宏貴 近藤雅樹

九尾、河童、鬼という著名な妖怪やほかの雑多なものたちの設定等々がたくさん載っています。今年の暁雲のテーマになった狐がどう描かれていたのか、ぜひ確認してみてください。

### 『出雲大社ゆるい旅』 ほか

島根県出雲市にそびえ立つ出雲大社は神道の中でももっとも有名です。この本はそれを始めとして神話やそのほかの名所についても解説しています。神々の残した痕を辿ってみませんか。

(六年)



## 読書の秋!! 読書の効果を紹介

運動会も終わり、ひと段落ついた人も多くいることでしょう。9月になり、読書の秋の季節になります。そこで、今回は「読書の効果」をいくつか紹介しようと思います。

読書をすることで、語彙力・文章力・コミュニケーション力・想像力・思考力・記憶力などの能力が向上します。そして、新しい価値観やアイデアが得られます。他にも、登場人物から生き方を学べたり、ストレス解消にもなったり、視野が広がったりします。そうした結果、様々な分野において失敗のリスクが減ることも期待できます。

いろいろ挙げましたが、読書をするのにいちいちこのようなことを考える必要はありません。読書を習慣化していくと、自然と身についていくものです。この西校には、「朝読書」というものがあります。憶測ですが、先生方もこうした効果を期待しているのでしょうか…。

ところで、皆さんはこの「朝読書」をまじめに取り組んでいますか? 読書が嫌いだからといって、適当に済ませていませんか? 朝の読書には、一日の始めに精神のコンディションを整える効果があります。どんな分野の本でも、簡単な内容のものでいいので、朝読書の10分間、集中して取り組んでみましょう! 自分では気がつかないうちに、新たな能力が身に付いていくことでしょう…



(四年)

## 新刊紹介

### 14歳の世渡り術シリーズ

『あなたの不安を解消する方法がここに書いてあります』

『わたしの外国語漂流記』 丸山ゴンザレス

『恋って何ですか?』 蒼井ブルー

『自分で考え、自分で書くためのゆかいな文章教室』

『英語苦手かも? と思ったときに読む本』

『夢のつかみ方、挑戦し続ける力』 早霧せいな

『死体が教えてくれたこと』 上野 正彦

『人生を変えるアニメ』

『みんなに話したくなる感染症のはなし』

『旅が好きだ!』

『モヤモヤしている女の子のための読書案内』

『学校行かなきゃいけないの?』 雨宮 処凛

『ショートショートでひらめく文章教室』

『建築家になりたい君へ』 隈 研吾

『学校では教えてくれないゆかいな漢字の話』

『人物叢書』

『大伴旅人』 鉄野 昌弘

『幣原喜重郎』 種稻 秀司

『日蓮』 大野達之助

『上杉謙信』 山口 邦明

『岩波ジュニア新書』

『ゲッチョ先生行く沖縄』 盛口 満

『はじめての哲学』 藤田 正勝

『深堀り! 中学数学』 坂間 千秋

『確かめて! ナットク物理の法則』 ショー・ヘルマンズ

『コミュニケーション力を高めるプレゼン・発表力』

『岩波ジュニアスタートブック』

『なぜ私たちは理系を選んだのか』 榎 太一

『サンゴは語る』 大久保奈弥

『地球温暖化を解決したい』 小西 雅子



(五年)

## 出会いの瞬間 (前期)

今年是一年遅れのオリンピック・パラリンピックがありましたね。初めて見るスポーツも多かったのではないのでしょうか。今回のテーマは「スポーツ」です。スポーツを題材に取り上げた本を紹介します。

『大迫傑 走って、悩んで、見つけたこと』 大迫傑  
常に一人の時間を大切に走り続けることで、答えは見つかっている気がする。マラソン日本記録保持者の大迫傑が、走ってきた中で見つけたこと、出会ったこと、現在の自分を形作っているものについて振り返った一冊。



『朔と新 (つくとあき)』 うちひみく  
交通事故で視力を失った兄、朔と心を閉ざしてしまっただ弟、新。感情がすれ違ふ二人の心を結ぶのは一本のロープ。フラインドマランソンへの挑戦が新の心情を変化させていく。兄の目となつた伴走者と視覚障がい者が二人三脚で走る物語。

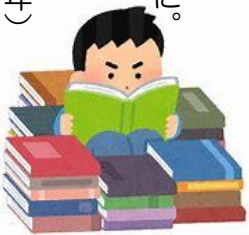
『見えないスポーツ図鑑』 伊藤亜紗ほか  
視覚障がい者にスポーツの臨場感をどう伝えるかから始まった研究は、日用品を使った動作にスポーツを「翻訳」することに向かった。思わぬアイデアから方向を転換し、十種目の競技の「人力VR」の開発に挑む、研究ドキュメンタリー。

『夢を跳ぶ』 パラリンピックアスリートの挑戦』佐藤真海  
先日の東京パラリンピックで旗手を務めた筆者が、骨肉腫で19歳の時に片足を失ってからパラ競技に出会い、日本代表に選ばれるまでの涙と希望と夢の手記。  
(三年)

## 輝く未来へ 進路研究

二年生の皆さん、職業調べは進んでいいますか？レポートを書くときに、インターネットを使うことも便利ですが、図書館で本を使って、調べてみるのはどうでしょう。本で調べるときにめんどくさい、そもそも図書館は遠いし、自分が探している本のある場所を探すのが大変だと思っている人も多いと思います。ですが、県西の図書館には、『なるにはBOOKS』というシリーズがたくさんあります。医者になりたい人、薬剤師になりたい人、声優になりたい人、臨床工学技士から冒険家になりたい人まで様々な種類があり、全ての疑問に答えてくれます。一冊に知りたい情報がすべて入っているのです。インターネットのように、度々検索をしなくても大丈夫。その職業についての専門家からのアドバイスや、職業への就き方まで、たくさん情報がぎっしりと詰まっています。とにかくおすすめですよ。そのほかに、十三歳のハローワークなどたくさんさんの職業についての本が図書館にあるので、ぜひ、遊びに来てください。ついでに自分が興味のある本とかも借りてみると楽しいかもしれません。

今年の読書の秋を、より深いものにするために。図書委員一同、お待ちしております。



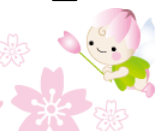
(二年)

## 新刊紹介

今年度も7月に「さくら文庫」に12冊の本が寄贈されました。みなさんは「さくら文庫」をご存知ですか？

平成16年7月、本校一期生の奥村さくらさんが二年生のとき、居眠り運転のトラックの犠牲になり亡くなりました

以来、さくらさんのご両親が「西校の皆さんのために役立てていただきたい」と本を寄贈してくださっています。これらの本を「さくら文庫」として、図書館右手のソファ席さくら文庫コーナーに収蔵してまいります。今回も芥川賞や直木賞受賞作品をはじめ西校生におすすめの本をたくさん寄贈してくださいました。ぜひ、手にとってみてください。



季 琴峰

石沢麻衣

沢田瞳子

『彼岸花が咲く島』

『貝に続く場所にて』

『星落ちて、なお』

『10代のための読書地図』

『日本人なら知っておきたい日本文学』

『ミカンの味』

『自宅学習の強化書—塾へ行かなくても成績が超アップ!』

『Inherit 城塚翡翠倒叙集』

『スイッチ 悪意の実験』

『夢三十夜』坊っちゃん文学賞

『葉っぱ切り絵コレクション』

『そばにいる』

『私たちの真実—アメリカン・ジャーニー』

『ハリス・カマラ』

(一年)

## 編集後記

私は、生物を選択している。今は生物の進化をやっている。先生の授業を受けているとき頭の片隅で本好きの私が私に話を吹っかけてくる。「どうやったらファンタジー世界のドラゴンが生まれるのだろうか。」と現実にはないからこそ気になってしまう。私は、考えた。翼竜をベースにして鱗をつけて体を大きくさせたらできるのではないかと。ここで一つの問題として飛べないまたは飛ぶのだから鱗はつけたとしても脆いだろうというものが上がる。脆いドラゴンなんてドラゴンではない。ここでわたしはまた考えた。ドラゴンの筋力を足に全集中させて滑空型にすればいいのではないかと。これならファンタジーの山にいる設定も生きてくる。よしこれでいいだろう。火は物理的におかしいから考慮しないものとする。らいぶらりnewsも生物と同じく変貌を遂げてきた。昔は鬼の所業も千六百字の原稿を書かされていたという。そんならいぶらりnewsは図書館にある過去作を読めばわかる。ぜひ図書委員に貸してくださいとたずねてみてはいかが？

(委員長)

